慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	友人間のコミュニケーションによってニュース購読を活性化するサービス"ライドニュース"の提案
Sub Title	"RideNews", making news reading more active by friends communication
Author	中山, 智博(Nakayama, Tomohiro) 稲蔭, 正彦(Inakage, Masahiko)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2012
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	本研究は、 友人間のコミュニケーションによってニュース購読を活性化するサービス"ライドニュース"の提案に関するアクションリサーチである。Web上での情報の増大に伴い人が日々購読するニュースが多様化し増え続ける一方で、現状若年層にとっては友達からの情報にのみ耳を傾ける傾向がある。若年層にとっての定番のニュースサービスというのは存在しておらず、現状のニュースサービスでは、若年層にとって最適なニュースの提供方法ができていないといえる。若年層は友達が話題にしている事にのりおくれたくなく、友達同士で盛り上がることを重視している。そこで本研究は若年層のニュース購読を活性化させるべく、友人間のコミュニケーションが出来るサービスを企画することでよりニュースを提供する媒体各社にとってもメリットのある情報、若年層で盛り上がるニュースの話題とそこのコミュニケーションを提案することとした。提案に至るまでのスポンサーであるミクシィとの提携、ユーザースタディによる若年層のニュースに対するニーズの洗い出し、若年層にあったニュースに対するコミュニケーション方法の立案、そしてニュース媒体の選定と提供方法について企画されたことについてを説明。そして実際の媒体各社への提案内容とそのフィードバックを得るまでをアクションリサーチに基づき説明する。
Notes	修士学位論文. 2012年度メディアデザイン学 第207号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002012-0207

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

KMD-81036561

修士論文

友人間のコミュニケーションによって
ニュース購読を活性化するサービス“ライドニュース”の提案

中山智博

2012年度（平成２4年度）

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科

友人間のコミュニケーションによって
ニュース購読を活性化するサービス “ライドニュース” の提案*

中山智博

概要

本研究は、 友人間のコミュニケーションによってニュース購読を活性化するサービス “ライドニュース” の提案に関するアクションリサーチである。Web上での情報の増大に伴い人が日々購読するニュースが多様化し増え続ける一方で、現状若年層にとっては友達からの情報にのみ耳を傾ける傾向がある。若年層にとっての定番のニュースサービスというのは存在しておらず、現状のニュースサービスでは、若年層にとって最適なニュースの提供方法ができていないといえる。若年層は友達が話題にしている事にのりおくれたくなく、友達同士で盛り上がることを重視している。そこで本研究は若年層のニュース購読を活性化させるべく、友人間のコミュニケーションが出来るサービスを企画することでよりニュースを提供する媒体各社にとってもメリットのある情報、若年層で盛り上がるニュースの話題とそこのコミュニケーションを提案することとした。提案に至るまでのスポンサーであるミクシィとの提携、ユーザースタディによる若年層のニュースに対するニーズの洗い出し、若年層にあったニュースに対するコミュニケーション方法の立案、そしてニュース媒体の選定と提供方法について企画されたことについてを説明。そして実際の媒体各社への提案内容とそのフィードバックを得るまでをアクションリサーチに基づき説明する。

キーワード

ニュース, SNS,ソーシャルグラフ, キュレーション,コミュニケーション

---

*慶應義塾大学大学院　メディアデザイン研究科　修士論文,KMD-81036561,2012年度（平成２４年度）

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に
修士（メディデザイン学）授与の要件として提出した修士論文である。

中山　智博

指導教員：

稲蔭　正彦　教授　（主指導教員）
砂原　秀樹　教授　（副指導教員）
南澤　孝太　教授　（副指導教員）

審査委員：

稲蔭　正彦　教授　（主査）
砂原　秀樹　教授　（副査）

“RideNews,” Making News Reading More Active by Friends Communication*

Tomohiro Nakayama

Abstract

This paper is an action research on the proposal of “RideNews,” the service making news reading more active by friends’ communication. As information on the web increase rapidly, the way of reading news have evolved in many different style. For young adults especially, the consumption of news have been heavily relying only on what one hear from friends. There is no one news service popular to the young adults. The current news service has not provided the effective way of providing news to young adults. Young adults do not just want to read news, but they are interested in the topics that can be talked among friends and they don’t want to be left behind on conversation on the news that are talked amont their friends.

The purpose of this research’s proposal is to provide the place for the young adults to communicate based on the news in order to make news reading more active for young adults. By doing so, the data from young adults communication can be extracted. It would also be an advantage for the news provider to understand the young adults’ preference and tendency on news based communication.

The discussion with mixi, user study to find out young adults’ needs on news, the idea development on news based communication, and news provider selection are explained. And the concept proposal to the news provider and feedback from them will are explained in the range of author.

Keywords:
News, SNS, Social Graph, Curation, Communication

---

* Master’s Thesis, Graduate School of Media Design,Keio University,KMD-81036561, Year 2012.